

水と共に生きるために

まつえしりつこなんちゅうがっこう
松江市立湖南中学校三年

めつぎ ゆうと
目次 悠翔

私たち地球に住んでいる人や動物は水と共に生きていて、トイレや風呂、飲料水などさまざまな面で水を使用しています。日本では、検査を重ねたより安全な水が通っている一方、川や湖の汚染状況がひどかったりします。

僕が分かる川や湖が汚染する理由は三つあると思います。一つ目は、ポイ捨てです。川や湖にポイ捨てをするとその捨てたゴミが、腐って、そこに住む生き物の命をうばうことがあるからです。二つ目は、生ごみです。生ごみの80%が水分だといわれています。生ごみの水分が80%なので、絞れば、それなりに水がしたたるし、一晩おいておくだけでも、水をきることができます。ちょっとしたことで、パッカー車の燃料の運搬にかかるエネルギーも減らすことができます。それだけではなく、家庭から出る「燃やすごみ」は、その名のとおり燃やされますが、「80%水分が燃やされるか」と。やっぱり一般的には燃えないそうです。だけど、生ごみの水分を減らせば、ごみを燃やすときのエネルギー効果も上がると思います。さらに、水分を減らせば、臭いも抑えることができます。ゴミ箱や三角コーナーなどから臭い出すこれからの季節、臭い対策としても有効だと思います。しかも、生活排水として水や湖への負担も少なくなります。三つ目は、工場排水や赤潮による川や湖の汚染です。工場排水による水質汚染により大きな被害が現れる点です。汚染された水を実際に口にしてしまった人は、体調不良を引き起こしてしまいます。赤潮とは、プランクトンの異常増殖により、海や川、運河、湖沼等が変色する現象です。赤潮によって、漁業や養殖業に大きな被害がでます。また、毒素が貝類の体内に蓄積し、それを食べた人に健康被害を及ぼすこともあります。なので、赤潮警報で呼びかけたり、対策が行われています。

僕は、この三つの問題を少しでもなくすためには節約したいです。生ごみの水分をきって捨てたり、ポイ捨てが今よりも少なくなるようにビニール袋を持ち歩きたいです。それと生活排水を少なくするために、ふろの残り湯を再利用できるようにくつを洗ったり、シャワーの時間を短くしたいです。この文章が少しでも多くの人に読んでもらって、少しでもこの問題が減ったらうれしいです。これからの水との付き合い方をより良くしていきましょう。